

第3学年 音楽科学習指導案

1 題材名 音階の特徴を生かして旋律をつくろう

2 題材の目標

五音で構成されている民謡や既習曲の鑑賞・演奏から感じ取ったそれぞれの音階の特徴を生かし、表現したいイメージをもって工夫しながら五音音階の旋律をつくる。

3 評価規準

【音楽への関心・意欲・態度】

民謡や既習曲の音階の構成音の違いと五音音階によって生み出される独特の雰囲気に関心をもち、五音音階の特徴を生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。

【音楽表現の創意工夫】

五音音階でつくられた旋律を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感受しながら、音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。

【音楽表現の技能】

音階の特徴を生かした音楽表現をするために、構成音を理解したり記譜の仕方を身に付けたりして旋律をつくっている。

4 題材について

本題材は、学習指導要領「A表現（3）創作」の指導事項アに示されている、「言葉や音階の特徴を生かした旋律づくり」を音楽を形づくっている要素の旋律（五音音階）、リズム、構成（反復・変化など）、音色とかかわらせて指導する題材である。五音音階の構成音や特徴を理解し、リズムや構成を工夫して、主体的に旋律をつくれるようにすることをねらいとしている。

<実態調査> 調査人数 38人

1 4分音符と同じ拍数になるリズムを選択肢の中から選ぶ問題。（選択肢6つのうち4つが正答） 〈正答数〉 4問 5人, 3問 6人, 2問 3人, 1問 17人, 0問 7人
2 五線譜に指定された音を記譜する問題。（3問） 〈正答数〉 3問 24人, 2問 8人, 1問 2人, 0問 4人
3 音楽をつくってみたいと思いますか。 はい 20人, いいえ 9人, どちらでもない 9人
4 創作の学習で楽しみなことは何ですか。（記述） 〈おもな回答〉 ・曲をつくること ・自分だけのオリジナルの曲がつくれること ・自由につくれること ・自分の考えやイメージを曲にすること ・友達と協力してつくること ・完成した作品を鑑賞すること
5 創作の学習で不安なことは何ですか。（記述） 〈おもな回答〉 ・うまくできるか ・曲として形になるか ・どのようにつくるか ・難しそう ・楽譜が読めないこと

実態調査からは、半数以上の生徒が音符・休符の長さやリズムを理解していないことがわかる。創作活動については、昨年度、グループで構成や強弱を工夫しながらリズムアンサンブルを作る活動を行い、生き生きと取り組んでいた。生徒の半数が創作への意欲をもっており、自分の意図を音楽にすることやオリジナルの曲を作ることを楽しみにしていることがわかる。しかし、創作の方法に不安をもっていたり、難しいという先入観をもっている生徒がいることも明らかになった。

そこで、音を5音に限定したり、リズムの例を提示したりすることで、音楽をつくることができたという達成感を味わえるようにする。また、つくった音楽を楽譜に表すことで、音階や音符、楽譜への理解を深めたり、ヨナ抜き音階や沖縄の音階などの5音音階を取り上げることで、我が国の伝統音楽に興味・関心をもったりすることができるようになる。さらに、仲間とともに表現することに関心が高い生徒がいることも考慮し、グループでの活動を取り入れ、主体的に創作活動に取り組めるようにする。

5 指導計画（4時間取扱い）

次	時	学習内容・活動	評価の観点			言語活動に関する指導上の留意点
			関	創	技	
1	1	五音で構成されている音楽を鑑賞したり、音階の構成音をアルトリコーダーで確認したりして、それぞれの音楽の雰囲気や音階の構成音の特徴に気付く。 記譜の仕方を確認し、五音音階の構成音を使って簡単な旋律をつくる。	○			・五音音階によって生み出される独特の雰囲気や感じ取った特徴をワークシートに記入させ、音階の特徴を生かしてどのような旋律をつくるかについてイメージや意図をもてるようにする。
2	1	選択した音階を使って簡単な旋律をつくる活動を通して、音階の特徴を生かしてどのような旋律をつくりたいかイメージをもつ。 各自で創作した旋律を、グループ内で発表し合う。		○		・個人でつくった旋律についてグループ内発表会を行い、工夫点やよさについて意見交換を行い、グループでの旋律づくりに生かせるようする。
	2 本時	グループで、音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。		○		・どのように旋律をつくるかについて、グループで話し合ったり、音にして試したりしながら活動することで、創作意図を明確にできるようする。
3	1	つくった旋律を記譜する。 グループでつくった旋律を発表し合い、味わいの違いなどを感じ取り、工夫点やよさを認め合う。	○		◎	・どのように旋律をつくるかについて、グループで話し合ったり、音にして試したりしながら活動することで、創作意図を明確にできるようする。

6 本時の学習

(1) 目標

音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように工夫して旋律をつくるかについて思いや意図をもち、表現したいイメージに合った旋律をつくる。

(2) 準備・資料

①音符（音名読み）カード ②リズムカード ③音階の拡大楽譜 ④活動の流れ
⑤創作の手順 ⑥参考音源 ⑦ワークシート ⑧グループ作品記譜シート（ホワイトボードマーカー） ⑨楽器（リコーダー、鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴など）

(3) 展開

学習内容・活動	資料・形態	指導と評価
1 前時までの学習内容を確認する。	一斉 ①②	<ul style="list-style-type: none"> ト音譜表の音名と易しいリズムを中心に、テンポよくフラッシュカードで確認し、創作に生かせるようにする。 授業で扱っている五音音階の種類や特徴について、どのようなものがあったか問い合わせ、生徒の言葉で確認する。 前時につくった生徒の作品をいくつか紹介する。 前時は、グループで選択した五音音階を使い、個人で4小節の旋律をついたが、本時は、それらのアイディアを生かしながら、グループで16小節の旋律をつくることを確認する。 題材の初めに鑑賞した生徒の興味を引く曲をもう一度取り上げ、動機や構成、旋律のまとまり（フレーズ）について確認するとともに、活動への意欲をもたせ
2 本時の課題を確認する。	一斉 ④⑤⑥	五音音階の特徴を生かして旋律をつくりよう

<p>3 五音音階で16小節の旋律をつくる。</p> <p>(1) グループで旋律をつくる。</p> <p>①選択した音階の特徴と表現したいイメージについて話し合い、確認する。</p> <p><音階例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民謡音階 ・律音階 ・沖縄音階 ・ヨナ抜き音階 <p>②旋律をつくる。</p> <p><予想される活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のつなぎ方を試す ・リズムを考える ・終わり方を工夫する <p>など</p> <p>(2) グループの発表を聴く。</p> <p>(3) 完成に向けて工夫すべき点をグループで話し合う。</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばす音や休符を入れる ・楽しい感じを出すために、音の高低差をつける ・伸ばす音を増やして、のんびりとした感じを出す ・演奏する楽器、音色を工夫する <p>5 本時の学習内容を振り返り、まとめをする。</p> <p>(1) 自己評価を記入する。</p> <p>(2) 感想を発表交流する。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>グループ ③⑧⑨</p> <p>一斉 ⑦⑧⑨</p> <p>グループ ⑦⑧</p> <p>個人 ⑦</p> <p>一斉 ⑦</p> <p>一斉</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが活動に参加できるよう、グループの人数は3～4人にする。 ・前時にグループ内で発表し合ったそれぞれの作品のリズムや構成で、良かった点を生かして創作するよう伝える。 ・リズムカードを掲示しておき、リズムを選んで使えるようにする。 ・アルトリコーダーなど身近な楽器で、実際に音を出して旋律を確認しながら創作するよう伝える。 ・音階の特徴を生かしてどのような曲にしたいか、表現したいイメージをよく話し合ってから旋律をつくり始めるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師側でグループを指定し、音階の特徴を生かして工夫しているところを紹介することで、イメージに合った旋律をつくるために、どのような工夫をしているか（リズム、旋律、速度などの要素）をよく聴き、よい点を参考にして自分達の表現に生かすように伝える。 ・各自のワークシートへの記述と他グループの発表を聴いて気づいたことを踏まえ、どのようにして旋律を完成させるかについて話し合う場を位置付けることで、次時への見通しがもてるようになる。 <div data-bbox="830 1320 1418 1516" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価（創意工夫）</p> <p>音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>（行動観察、ワークシートの記述）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもって創作できたかを振り返り、自己評価をするように促す。 ・活動の感想を発表し合い、次時に向け、発表しやすく互いを認め合える雰囲気をつくる。 ・次時は、本時の気づきを生かして作品を完成させ、発表会を行い、全体で各グループの作品を聴き合うことを確認する。
--	--	---



音階の特徴を生かして 旋律をつくろう

3年	組	番
氏名		

(ヒント)

リズムを組み合わせて使おう

拍数	四分音符で表すと	4分音符のかわりに使えるリズム			
1拍	♩	♪	♩	♪	♩
		♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪
		♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪
2拍	♩ ♩	♩	♩ ♩	♩ ♩	♩ ♩
		♩ ♩	♩ ♩	♩ ♩	♩ ♩
3拍	♩ ♩ ♩	♩	♩	♩	♩
4拍	♩ ♩ ♩ ♩	♩	♩	♩	♩

(参考)

“日本の民謡と芸能”……教（1）P.40 日本の音階

●民謡音階

「ソーラン節」北海道民謡……教（1）P.22

「草原情歌」中国青海民謡……教（1）P.25

「こきりこ節」富山県民謡……教（1）P.51, (器) P.9

「子守歌（ねんねこ ころろこ）」秋田県民謡……教（下）P.18

「たこたこあがれ」わらべうた……教（器）P.17

「なべなべそこぬけ」わらべうた……教（器）P.23

「かごめかごめ」わらべうた

●律音階

「月の美しや」沖縄県民謡……教（上）P.68

●沖縄音階

「谷茶前」沖縄県民謡……教（下）P.19

●ヨナ抜き音階

「赤とんぼ」……教（1）P.20

「アリラン」朝鮮半島の民謡……教（1）P.24

「螢の光」スコットランド民謡……教（上）P.72



音階の特徴を生かして 旋律をつくろう①

3年	組	番
氏名		

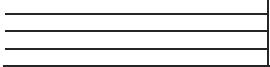
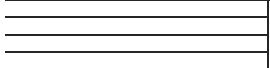
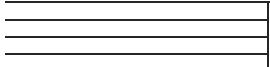
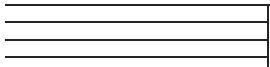
1 五音音階について知ろう

(1) 音階・五音音階とは

音階とは、ある規則に基づいて並べられた音の列です。最も代表的な音階として、長音階（長調の音階）と短音階（短調の音階）があります。

五音音階は、() オクターブの中に () つの音が含まれる音階のことです。ペンタトニックスケールとも呼ばれます。日本の伝統音楽をはじめ、各国の民謡にも広くみられます。

(2) 五音音階の特徴をまとめよう

音階の名称	構成音	この音階が使われている曲	特徴 感じ取った雰囲気	創作のルール
民謡音階		わらべうた、民謡に多い。 例 • かごめかごめ • こきりこ節 • ソーラン節 •		ミで終わる。
律音階 <small>(律旋法)</small>		ががく しょうみょう 雅楽、声明（仏教の音楽）に多くみられる。 例 • 月ぬ美しや • GOUNN (ももいろクローバーZ)		ドで終わる。
沖縄音階 <small>(琉球音階)</small>		沖縄音楽やインドネシアなどの音楽など。 例 • 谷茶前 •		ド、ミ、ソで始める。 ドで終わる。
ヨナ抜き 音階 <small>(ヨナ抜き長音階) (呂旋法)</small>		スコットランドや朝鮮半島の民謡、日本の民謡・演歌など。 例 • 蛍の光 • 赤とんぼ • もののけ姫		ソで始める。 ドで終わる。

2 五音音階で簡単な旋律をつくろう

(1) 創作のルールに従い、ヒントのリズムを参考にして、工夫して旋律をつくろう

使用する音階	音階
曲名	
(4分の4拍子, 4小節または8小節)	
工夫したところ	

使用する音階	音階
曲名	
(4分の4拍子, 4小節または8小節)	
工夫したところ	

(2) グループ内で発表しよう

友達からの感想（ふせんを貼る）

《自己評価》

- 1 五音音階の構成音や特徴について理解し、関心が高まった。（4・3・2・1）
- 2 どのような旋律をつくるかについて思いやイメージをもって創作できた。（4・3・2・1）
- 3 考えた旋律を記譜する（楽譜に書く）ことができた。（4・3・2・1）

活動を通して学んだこと・感じたこと



音階の特徴を生かして 旋律をつくろう②

3年 組 番

氏名

3 五音音階の特徴を生かし、工夫して旋律をつくろう

- (1) グループで、使う音階を選択しよう
- (2) 音階の特徴や表現したいイメージについて、グループで話し合おう
- (3) 個人で、工夫して旋律をつくろう

グループの メンバー				
使用する音階	音階	構成音 (使える音)		
音階の特徴・ 表現したい イメージ				

A (4分の4拍子, 4小節または8小節)

工夫したところ

B (4分の4拍子, 4小節または8小節)

工夫したところ

(4) 創作した旋律をグループ内で発表し合おう

音階の特徴を生かし、イメージに合った旋律をつくるために、どのように工夫しているか（リズム、旋律、速度などの要素）をよく聴き合おう。

友達からの感想（ふせんを貼る）

《自己評価》

- 1 五音音階の構成音や特徴について理解し、関心が高まった。（4・3・2・1）
- 2 どのような旋律をつくるかについて思いやイメージをもって創作できた。（4・3・2・1）
- 3 表現したいイメージに合わせて、工夫することができた。（4・3・2・1）
- 4 考えた旋律を記譜する（楽譜に書く）ことができた。（4・3・2・1）

活動を通して学んだこと・感じたこと



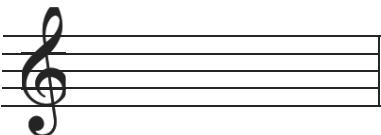
音階の特徴を生かして 旋律をつくろう③

3年 組 番

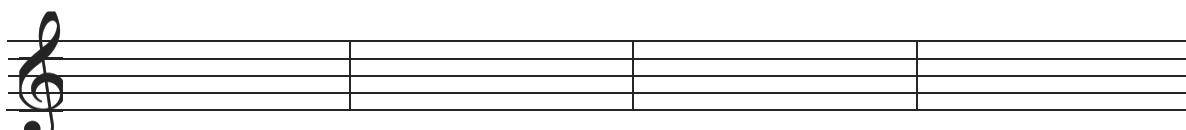
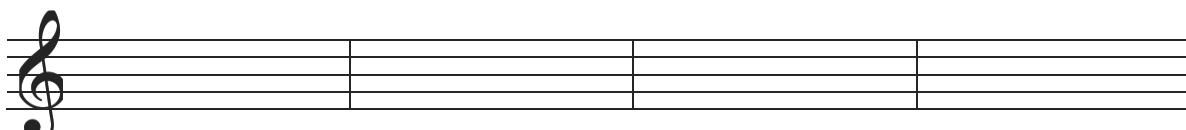
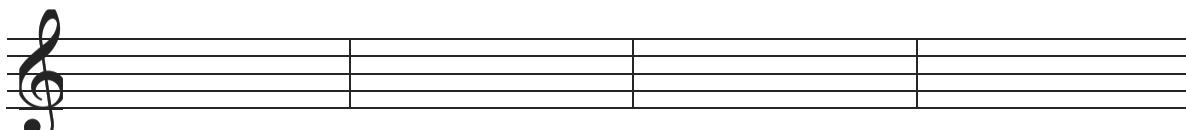
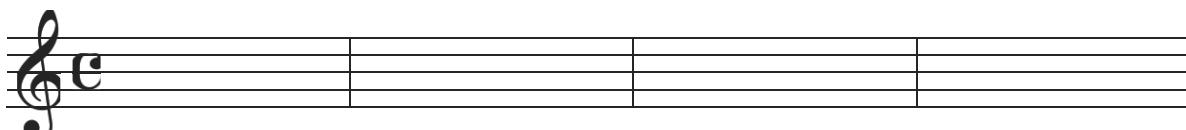
氏名

3 五音音階の特徴を生かし、工夫して旋律をつくろう

- (5) グループで、使っている音階とその特徴・表現したいイメージについて確認しよう
- (6) グループで、工夫して旋律をつくろう（メンバーの作品の良いところを生かして、16小節）
- (7) 音色を工夫しよう（余裕があれば）

グループの メンバー				
使用する音階	音階	構成音（使える音）		
音階の特徴・ 表現したい イメージ				
曲名				

（4分の4拍子、16小節）



(8) どのような旋律をつくることができたか、自分の言葉でまとめよう

(9) 代表グループの発表を鑑賞しよう

(10) 仕上げに向けて話し合おう

話し合いメモ

《自己評価》

- 1 どのような旋律をつくるかについて思いやイメージをもって創作できた。 (4・3・2・1)
- 2 表現したいイメージに合わせて、工夫することができた。 (4・3・2・1)
- 3 考えた旋律を記譜する（楽譜に書く）ことができた。 (4・3・2・1)

4 作品を仕上げ、五音音階オリジナルメロディーの発表会をしよう

《自己評価》

- 1 友達からのアドバイスを生かして作品を完成させることができた。 (4・3・2・1)
- 2 他のグループの作品のよさを見つけることができた。 (4・3・2・1)
- 3 楽譜を読む力（読譜力）・書く力（記譜力）を高めることができた。 (4・3・2・1)
- 4 日本や世界の音楽に興味・関心をもつことができた。 (4・3・2・1)

活動を通して学んだこと・感じたこと